

月刊 まつなみ

平成20年
April
4月号
No.102



写真：医事課 加藤 康昭

あいさつは 心の扉

あけるカギ

早春賦

春は名のみよ 風の寒さや
谷のウグイス 歌は思えど
時にあらずと 声も立てず
時にあらずと 声も立てず

氷解け去り 葦は角ぐむ

さては時ぞと 思うあやにく

今日もきのうも 雪の空

今日もきのうも 雪の空

医療法人 蘇西厚生会 理念

私たちは、地域住民の皆様へ、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは、地域中核病院を有する法人として、医療環境の変化に対応した質の高い保健・医療・福祉サービスの提供を通して地域社会と共に発展をめざします

私たちは、患者様や利用者の方のプライバシーを守るとともに、権利を尊重し、根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供するよう努力します

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図ることにより、職員の仕事が安定し、生活が安定し、向上するよう努力します

目次

- 医療最前線
1年間の卒後医師臨床研修を振り返って
- 糖尿病教室 調理実習会/春の入門コース
4月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

当院は、厚労省認可の管理型研修病院です。

研修医：山内 高雲

麻酔科2ヶ月、整形外科2週間、脳神経外科2週間、一般外科3ヶ月、一般内科5ヶ月、循環器内科1ヶ月のカリキュラムのもと研修をおこないました。

麻酔科では術前評価から、実際の挿管、術中管理、抜管、術後評価を系統的に研修できました。それぞれの手技もコツをつかむまで指導医の下、実践させてもらえたことは将来に役立つ研修でした。

整形外科、脳神経外科では、外来と手術を中心に研修しましたが、入院患者さんを受け持ち、緊急呼び出し、看護師からの電話での指示出しや上級医へ相談の仕方、プレゼンの仕方などを研修しました。

一般外科では、消化器、呼吸器、循環器の手術を数多く体験することができ手術の技法を見学し、そして指導いただき、開腹、開胸、閉創は自分が中心となって行うことができました。たくさんの方法をみて学んで行って、方法はひとつではないことを学べたことも大きな研修成果でした。救急外来の縫合時では、万のうまくいかなの場合の対処法を外科での研修を参考にすることができ成功する結果を得た経験もありました。

一般内科では、入院患者さんを受け持ち、疑問があれば教科書での勉強はもちろん、指導医・上級医への毎日の相談によって傍大な内科の知識を徐々に体系化していき身につけていくことができました。日々のカルテ記載の仕方、カンファや学会での発表の仕方、論文の調べ方など貴重な勉強もできました。また、看護師への細かい指示出しや、薬の出し方や評価の仕方、保険点数などの重要性も研修することができました。救急外来で最初に見た患者さんを入院の治療、退院まで外科やICU管理になっても自分で見続けることができたのもよい研修でした。

循環器内科では心臓カテーテル検査が主で、急性心筋梗塞に対する緊急カテも数多く体験することができました。心エコーもたくさんみることができ、同時に入院患者さんにエコーを毎日行ったりして、救急外来での基本的なエコーを行う力を身につけることができました。

それぞれの科に入る度にリセットになるのではなく、各科を回る前より交流があったり、終わった科であっても先生方と患者さんの話をしたりして、継続して知識を引き出すことができました。当直や入院患者さんの受け持ちなどで実際に考え、医療を行うことの大切さと責任感の強さ、使命感を身を持って学ぶことができた1年でした。

今後とも、地域の方々の役に立てる医師になるべく頑張っていきます。

研修医：李 静雅

研修を始めて痛感したことは「キソ」の大切さでした。問診、聴診や触診などの身体診察、血圧測定etc。学生時代に実習したけれど、現場ですぐに上手くできるものではありませんでした。あわただしい救急外来では、最初は雑音が気になって血圧すら簡単に測れず看護師さんを苦笑させました。ストレッチャーで患者搬送するにも、最初は重さに振り回され、採血、輸液ルート確保だって人の2倍くらい時間がかかった時もありました。また病棟では診察やカルテ記載にもとんでもないくらい時間がかかったり、検査オーダーその他指示出しなど日々の業務でも知らないことだらけでした。

それでも粘り強く指導して下さった指導医・上級医の先生方や、コメディカルの方々には言い尽くせないほど感謝しています。1年経ってやっと慣れた気がします。しかしこれからも初心を忘れず、基礎を大切に。そして笑顔を大切に。月並みですが、患者さんのためにがんばります。

研修医：市橋 敏弘

松波総合病院にお世話になってから、早いものでもうすぐ一年が経とうとしています。その間、内科5ヶ月、循環器内科1ヶ月、麻酔科2ヶ月、脳外科2週間、整形外科2週間と順番に研修科をローテートし、現在は1年目最後の研修科となる外科に在籍しています。実際に様々な科をローテートしてみて思ったのは、いくら知識があっても実際に経験を積まなければ、やはり何も出来ないなということです。本を読むだけなら学生時代と何ら変わりませんが、研修は実際に臨床の場で使えるような知識を身につけ、そしてそれを実践していかなければ意味がありません。そのような意味では、より多くの症例にあたり、より多くの経験をすることが研修を充実したものにするために必要となりますが、私自身この1年を振り返ってみてそれが十分にできたかという、決して満足のいく結果ではなかったと思います。幸い松波総合病院には多くの症例が揃っていて、経験をつめる機会には事欠きませんが、その環境を上手に活用できていなかったことが悔やまれます。2年目は以上の反省点を踏まえて指導医の下、研修に励みたいと考えています。

そして、私も患者様に信頼される医師になるため努力していきます。

研修医：安部 真梨子

一年目は、五ヶ月間内科、一ヶ月間循環器科、三ヶ月間外科、二ヶ月間麻酔科、をローテーションし終えたところでした。

内科研修では、指導医とマンツーマンの指導をしていただきました。カルテの記載の仕方から始まり、診察の仕方・点滴の内容・検査等あらゆることを教えていただきました。また、中心静脈ルート確保・ルンバル・胃瘻造設・気管支ファイバーの使用など様々な手技も学ぶことができました。

外科研修では、主として手術に入り、術後管理の仕方を教えていただきました。また、実際に真皮縫合や糸結びをやらせていただくことで、救急現場での縫合など、スムーズに行えるようになりました。外科研修最後には、指導医の下、鼠径ヘルニアの主治医をしました。実際に主治医として執刀する事で、補助や鉤引きの大切さなどいつもと違う目線で手術を行う事ができました。

麻酔科研修では、マスク換気・挿管・救急薬品の使い方など救急の現場で役立つ技術を教えていただきました。

当直では、軽症から重症まで様々な患者さんに接し、救急の現場で何を第一に考えるかなど、日常の診察との違いを学びました。

あっという間に一年が過ぎてしまいましたが今後も、日々努力を忘れず二年目も頑張り、患者さんから信頼される医師になりたいと思います。

※研修医は、経験豊富な指導医の下、診療にあたっております。

糖尿病教室主催

調理実習会

糖尿病教室主催 調理実習会を下記の日程にて開催いたします。

糖尿病の食事について、実際に調理をしながら学びませんか？



日 時：平成20年4月20日（日）

午前9時45分 受付

場 所：笠松中央公民館 調理室

テーマ：ごちそうに見えるヘルシー料理

参加費：500円

持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具



*対象は糖尿病患者様とご家族(1名様まで)です。
注)お子様の参加はご遠慮下さい。

*参加をご希望の方は、申し込み用紙をご記入の上、参加費と共にクリニック受付までお持ち下さい。
先着30名になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

松波総合病院 糖尿病教室

糖尿病教室



春の入門コース

「糖尿病についてとその治療法」

松波総合病院 副院長 林 慎先生

「運動の効果と実際」

理学療法士 山崎 康司先生

日時：平成20年4月5日（土）14:00～16:00

場所：松波総合病院 3階講堂

*どなたでもご自由にお越し下さい。

4月 お知らせ

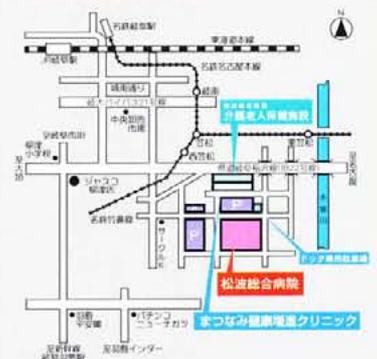
■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎5日(土) 入門コース…一回で糖尿病について一通り学べます。3階講堂にて午後2時～4時

◎20日(日) 調理実習会…事前にお申し込みが必要です。詳細は外来掲示板等にてお知らせします。

◎毎週水、金曜日、5階病棟ダイニングにて 午後1時～2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。



交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院
松波電車線羽島駅 徒歩約10分
タクシー20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院
名鉄電車線羽島駅 徒歩約10分
タクシー15分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院
名鉄電車線笠松駅 徒歩約10分